

京都府立大学学術報告投稿原稿作成要領

(平成17年6月20日制定)
 (平成17年10月13日改正)
 (平成18年10月13日改正)
 (平成20年4月1日改正)
 (平成21年5月8日改正)
 (平成22年5月19日改正)
 (平成23年9月29日改正)
 (令和8年6月19日改正)

1 投稿原稿の作成

投稿原稿は、ワードプロセッサを用い、下記の文書スタイルにより、A4版の用紙を用いて作成すること。

ただし、英文以外の外国語文については、本文組の文書スタイルにより作成し、図、表、写真欄のスペースを空け、ページの左右余白を14mm～15mm空けること。

使用言語	和 文 等			英 文 等
編	人文、社会科学		生命環境学	各編共通
組み	縦 書	横 書		
パソコン・ワープロ原稿 (A4版)	1枚1行31字× 23行(713字詰) (2枚で本文1 頁分)	1枚1行43字 ×35行(1,505 字詰) (1枚 で本文1頁分)	1枚1行50字× 25行(1,250字詰) (2枚で本文1 頁分)	1枚1行90字× 25行(2,250字詰) (2枚で本文1 頁分)
本文組 (B5版)	1頁1行31字× 23行×2段 (1,426字詰)	1頁1行43字 ×35行(1,505 字詰)	1頁1行25字× 50行×2段 (2,500字詰)	1頁1行90字× 50行 (4,500字詰)

2 論題、著者名及び所属

次のとおり、京都府立大学学術報告投稿票記入要領により記入する。

(1) 人文、社会科学

- ① 和文の論文等は、和文のタイトル、著者名を記載する。
- ② 英文の論文等は、英文のタイトル、著者名をローマ字で記載する。

③ 英文以外の外国語文の論文等は、当該外国語文のタイトル、著者名を記載する。

④ 所属は、論文等の末尾に学部・学科等の名称、職名等を記載する。

(2) 生命環境学

① 和文の論文等は、和文のタイトル、著者名を記載するとともに、欧文のタイトル、著者名をローマ字で記載する。

② 英文の論文等は、英文のタイトル、著者名をローマ字で記載する。

③ 英文以外の外国語文の論文等は、当該外国語文のタイトル、著者名を記載する。

④ 所属は、先頭ページに脚注として、研究科、専攻名若しくは研究室の名称を記載する。

3 要旨 (synopsis)

(1) 英文以外の外国語文の論文については、末尾に400字程度の和文又は200語程度の英文要旨を記載する。

(2) 和文及び英文の論文等については、以下のとおりとする。

a 人文編及び社会科学編

投稿者が希望する場合は、要旨を付けることができる。その位置は、論題・著者名と本文との間とする。要旨の長さは、和文は400字、欧文は200語、欧文以外の外国語文は和文400字に相当する字数とする。

b 生命環境学編

要旨を付ける。その位置は、論題・著者名と本文との間とする。要旨の長さは、和文は400字、欧文は200語、欧文以外の外国語文は和文400字に相当する字数とする。

また、和文の論文等については、投稿者が希望する場合は、和文要旨に加え、欧文要旨を付けることができる。

4 注及び文献

注は本文の最後一括して出現順に付ける。

横書きの場合はページごとの脚注（注番号は一括連番）も可能とする。

参考文献・引用文献リストは、本文の後ろ、注のある場合は注の後ろに記載する。

5 参考文献・引用文献における誌名省略法

各分野でもっとも一般的に用いられる方法による。

6 表、図、写真

表、図は別紙に書く。また、可能な限りデジタルデータも提出する。

写真も可能な限りデジタルデータを提出する。

表、図、写真の表題にはそれぞれ通し番号を付ける。

図、写真は上下の別を指定する。

図、表、写真の挿入箇所は、本文原稿に朱書きで示す。

表、図、写真の仕上がりの大きさは、下表のとおり。

編	人文、社会科学	生命環境学
組	縦書	横書
図、表、写真の大きさ	幅 13.7cm 以内 長さ 10.0cm 以内又は 21.0cm 以内	幅 7.5cm 以内又は 15.2cm 以内 長さ 21.0cm 以内

7 数、数式、単位

数は原則としてアラビア数字を用いる。

数式は誤解を生じないように 1 行に入るように書く。

単位は J I S などを参考とする。